

簡易専用水道設置届

年 月 日

(あて先) 一 宮 市 長

住 所

氏 名

(名称及び代表者氏名)

水道法第 3 条第 7 項に規定する簡易専用水道を設置しましたので、届け出ます。

建 物	名 称	(TEL)		設置年月	年 月
	所在地	〒			
	構 造	地上 階、地下 階、延べ面積 m ² 「建築物衛生法適用」(1 有 2 無)			
	主用途	1 共同住宅 2 事務所 3 店舗 4 学校 5 旅館 6 その他()			
所有者(設置者)		住所 〒		氏名又は名称 (TEL)	
管 理 者		住所 〒		氏名又は名称 (TEL)	
給 水 設 備 (飲 料 用)		受 水 槽	高 置 水 槽	その他の貯水槽	
	設置場所	1 屋外 2 屋内 (地上 階、地下 階)	1 屋外 2 給水塔 3 その他()	1 屋外 2 屋内 (地上 階、地下 階)	
	設置状態	1 床置き 2 その他 ()	屋根 1 有 2 無	1 床置き 2 その他 ()	
	水槽数・ 容 量	()槽 ()m ³ 、()m ³	()槽 ()m ³ 、()m ³	()槽 ()m ³ 、()m ³	
	材 質	1 合成樹脂 2 ステンレス 3 コンクリート 4 鋼板 5 その他()	1 合成樹脂 2 ステンレス 3 コンクリート 4 鋼板 5 その他()	1 合成樹脂 2 ステンレス 3 コンクリート 4 鋼板 5 その他()	
給水管の材質		1 硬質塩化ビニル管 2 硬質塩化ビニルライニング鋼管 3 ポリエチレン管 4 ステンレス管 5 その他()			
施設の利用状況		滅菌施設	使用水量	残留塩素測定器	
		1 有 2 無	m ³ /月	1 有 2 無	
備 考					

添付書類 設備の位置図及び給水系統図

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

記入上の注意事項

- 1 届出者
当該簡易専用水道の設置者又は維持管理に関する権限を与えられている者
- 2 建物の名称
〇〇マンション×号棟、△△小学校本館、××会社〇〇工場等建物の名称を記入すること。
- 3 設置年月
水道事業者から浄水を受水して簡易専用水道施設を使用開始する年月を記入すること。
- 4 主用途
主な用途を選び○で囲むこと。
- 5 所有者（設置者）
届出者と同一の場合は、「届出者と同一」を記入することでもよい。
簡易専用水道施設を設置（又は所有）している者(2名以上の者が共同して簡易専用水道を設置している場合はその代表者)
- 6 管理者
届出者又は所有者（設置者）と同一の場合は、「届出者又は所有者（設置者）と同一」を記入することでもよい。
当該簡易専用水道の全部の管理を任されている者（業者に管理委託している場合は委託業者名を記入すること。）
- 7 給水設備
 - (1) 受水槽
加圧及び貯水の目的で水道管より受水する水槽をいう。
 - (2) 高置水槽
配水量や水圧を調節するために建物の屋上等に設けられる水槽をいう。
 - (3) 副受水槽、圧力水槽等があればその他の貯水槽欄に記入してください。
 - ① 設置場所
屋外、屋内(地上、地下○階)等水槽の設置場所を記入すること。
 - ② 設置状態
床置きは、外面を点検できる構造をいい、水槽が地下に埋め込まれているものや建物の壁や床を水槽の外壁としているものは、その他に記入してください。
 - ③ 水槽の数・容量
容量は、水槽において適正に利用可能な容量をいい、水の最高水位と最低水位との間に貯留される容量をいう。
 - ④ 材質
該当する材質を選び、○で囲むこと。その他のものについては材質の種類を記入すること。
- 8 給水管の材質
該当するものを○で囲むこと。その他のものについては材質の種類を記入すること。
- 9 施設の利用状況
 - (1) 滅菌設備
水道水の再滅菌（消毒）のための設備の有無について○で囲むこと。
 - (2) 使用水量
1か月の平均予定使用水量を記入すること。
 - (3) 残留塩素測定器
残留塩素測定器の有無について○で囲むこと。